

# 59年度 決算

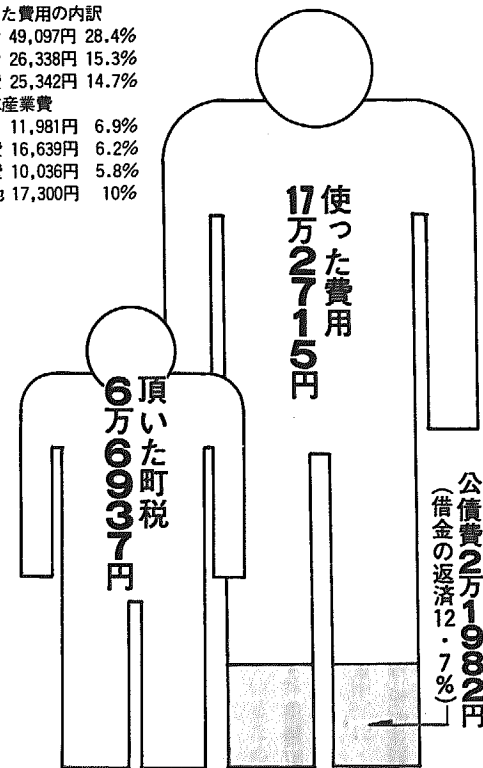
## 38億円の使いがい

決算59 / 38億円の使いがい

町税、歳出を人口(60,331:21766人)で割ると、使った費用の内訳は、総務費49,097万円(28.4%)、土木費26,338万円(15.3%)、教育費25,342万円(14.7%)、農林水産業費11,981万円(6.9%)、衛生費16,639万円(6.2%)、民生費10,036万円(5.8%)、その他17,300万円(10%)です。

### 町民1人当たりでは

町税、歳出を人口(60,331:21766人)で割ると、使った費用の内訳は、総務費49,097万円(28.4%)、土木費26,338万円(15.3%)、教育費25,342万円(14.7%)、農林水産業費11,981万円(6.9%)、衛生費16,639万円(6.2%)、民生費10,036万円(5.8%)、その他17,300万円(10%)です。



### 決算規模は横ばい

皆さんの暮らしや各種事業に町はたくさんお金を使っています。町はあらかじめ町にいくらお金が入ってきて、それをどう使うか、年度初めに予算(当初予算)をたてます。必要に応じて修正予算を組みます。59年度は当初35億7200万円です。8回の補正を経て最終的に38億3217万円になりました。この予算を実際に使ったのが決算です。歳入(町に入ってきたお金)は38億4485万6361円、歳出(町が使ったお金)は37億5931万3008円でした。前年度と比べ歳入は4421万円(1.1%)、

歳出は7280万円(2.0%)それぞれ増減しました。歳入と歳出の差額が繰越金で、町のもうけではありません。自主財源55%。残りには国庫、借金で

### 暮らしをこころよく、と町民に喜ばれる町に

昭和59年度の決算がまとまり、12月議会で認定されました。決算は町の家計簿といわれるもので、59年4月1日から60年3月31日まで、町にいくらお金が入ってきて、何にどう使ったかをまとめたものです。決算額は歳入が38億4486万円、歳出が37億5931万円、繰越金が37億5931万円、繰越金(前年度比)は前年度より1.2%下がり、自主財源で足りない分は国庫や町債(借金)に頼ることになります。これを依存財源といひ、45.2%です。歳入の内訳は、8ページをご覧ください。北部地区公民館、町道整備、環境改善センターなどのほか、職員などの人件費、公債費(借金の返済)など目に見えないものまで使っています。

### 歳出の内訳

◆総務費 10億6864万円 (-2億115万円 -15.8%)  
前年度庁舎用地買収があったため減少。▶給料5億61万円▶手当等2億7117万円▶町史編さん費69万円▶鳥原バス停駐車場2031万▶将来構想策定費450万円▶広報費435万円▶交通安全対策費826万円▶徴税費1837万円▶戸籍住民基本台帳費476万円▶選挙費236万円▶統計調査費184万円



◆土木費 5億7327万円 (+9350万円 +19.5%)  
除雪費、都市下水路工事費道路整備費が増加。▶町道の整備3億286万円(町道舗装延長6万7979m、舗装率82%)▶県道の整備(本町の負担金)1027万円▶雪害対策費3416万円▶都市下水路費1億8488万円▶公園事業費166万円



◆教育費 5億5159万円 (+2億588万円 +59.6%)  
北部地区公民館、大野プールなどで増加。▶小学校の修繕、工事に1979万円▶中学校の修繕、工事に643円▶大野小プール7142万円▶文化財保護費209万円▶青少年問題対策費152万円▶図書館費796万円▶北部地区公民館建設費2億4049万円▶学校給食費1779万円▶寺地スポーツ公園建設費2358万円▶社会体育費2740万円

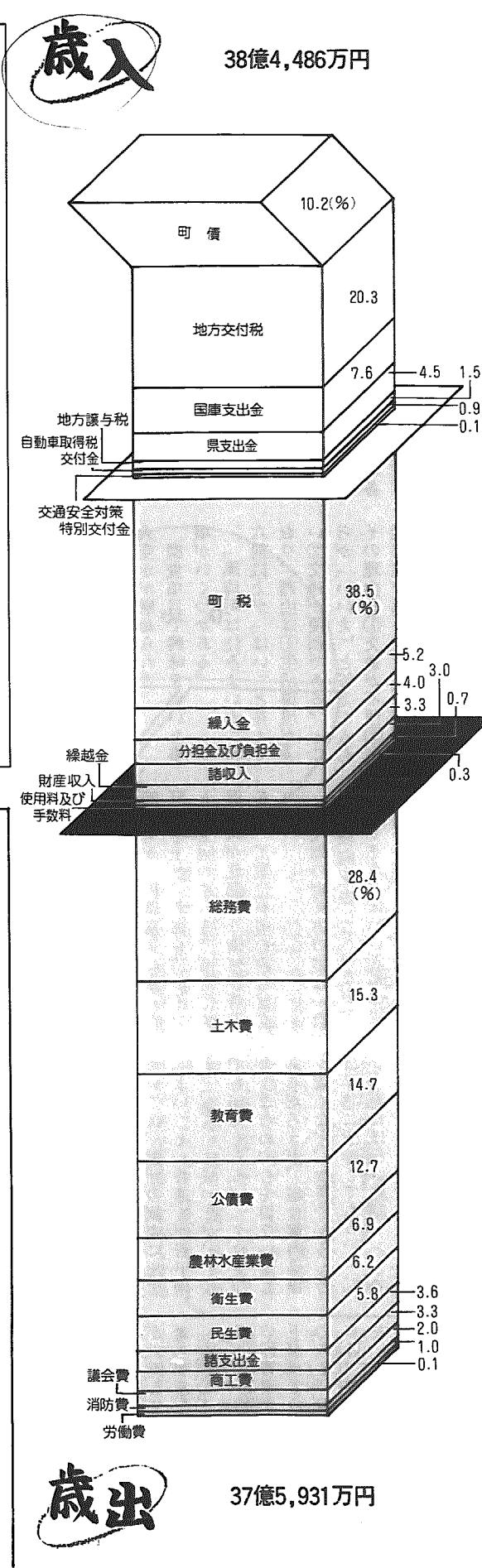


### 自主財源 21億706万円(54.8%)

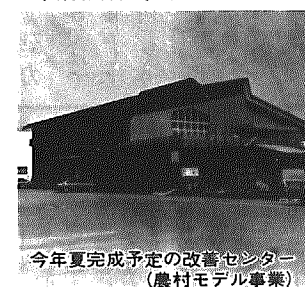
◆町税 14億6309万円 (+1億1034万円 +8.2%)  
町の最大の収入源。町民税、固定資産税、軽自動車税など。企業進出、人口増に伴い増加傾向。収納率は97.0%。  
◆繰入金 2億200万円 (-1億4045万円 -41.0%)  
基金を崩して一般会計に入れるもの、財政調整基金繰入金1億円、町民会館建設基金繰入金3200万円。ほか。  
◆分担金及び負担金 1億5509万円 (+47万円 +0.3%)  
ほとんどが保育料。  
◆諸収入 1億2847万円 (-3258万円 -20.2%)  
鉄建公団からの防音工事受託事業費が減少したため減。産業育成資金元利収入5912万円  
◆繰越金 1億1613万円 (+4890万円 +72.7%)  
前年度の繰越金  
◆財産収入 2756万円 (-875万円 -24.1%)  
基金の取り崩しで利子減少  
◆使用料及び手数料 1352万円 (-28万円 -2.0%)  
※( )は前年度比

### 依存財源 17億3780万円(45.2%)

◆町債 3億9200万円 (+7470万円 +23.5%)  
町の借金。北部地区公民館建設に1億2520万円、町道改良に9930万円、都市下水路に6960万円。  
◆地方交付税 7億8108万円 (-2303万円 -2.9%)  
国が一定の割合で地方に配分する。町にとっては頼みの綱だが昨年度に続き減収。  
◆国庫支出金 2億9378万円 (-149万円 -0.5%)  
使用目的が決まっている国から補助金。農村モデル4313万円、都市下水路5200万円、北部地区公民館3700万円、児童措置負担金7051万円  
◆県支出金 1億7354万円 (+1396万円 +8.7%)  
新農業構造改善事業6287万円、個人県民税徴収委託金1716万円、モデル1700万円  
◆地方譲与税 5855万円 (-302万円 -4.9%)  
◆自動車取得税交付金3606万円 (+295万円 +8.9%)  
◆交通安全対策特別交付金279万円(+111万円+65.8%)



◆公債費 4億7846万円 (+1億1566万円 +31.9%)  
町の借金の返済。繰上償還金、一般廃棄物最終処分場用地取得費債の償還が始まり増加。町債は総額で32億7457万円あります。  
◆農林水産業費 2億6079万円 (-303万円 -1.1%)  
▶新農業構造改善事業6589万円(ライセンスセンター2267万円)▶農業振興費1414万円(木場八割集落開発センター958万円)▶土地改良区排水負担金1238万円▶農村総合整備モデル事業費8627万円▶町農業振興協議会補助金540万円



◆衛生費 2億3157万円 (-2億208万円 -46.6%)  
前年度一般廃棄物最終処分場建設があったため大きく減

少。▶新潟地区広域清掃事務組合負担金1億92万円▶ごみ収集委託料4804万円  
◆民生費 2億1843万円 (+227万円 +1.0%)  
▶社会福祉費5916万円(老人福祉対策黒埼荘、国民年金事務費など)▶障害福祉費365万円▶児童福祉費(保育所関係、児童手当2681万円など)  
◆諸支出金 1億3584万円 (+5884万円 +76.1%)  
▶財政調整基金積立金8393万円▶減債基金5000万円  
◆商工費 1億2553万円 (+86万円 +0.7%)  
産業育成資金、商工業近代化資金の融資、商工会の補助、消費生活改善など。  
◆議会費 7458万円 (+867万円 +13.1%)  
▶報酬4795万円  
◆消防費 3592万円 (-681万円 -15.9%)  
消防団用積載車(1台170万円、小型動力ポンプ2台132万円)購入、消火栓新設(7基)  
◆労働費 468万円 (+20万円 +4.4%)  
▶失業対策労働者補助金451万円(13人分)

### 歳出 37億5,931万円